

(2017.3.13訂正版)

第46回 ゴーセン杯争奪 ハイスクール ジャパンカップ ソフトテニス 2017  
南・北北海道ブロック予選大会  
開 催 要 項

1	日 時	北北海道：平成29年4月8日（土）・9日（日）※両日とも8：30受付終了 南北海道：平成29年4月15日（土）・16日（日）※両日とも8：30受付終了 ※南北共通～1日目は、開会式、ダブルス競技全日程、シングルス1回戦（予定） 2日目は、シングルス競技の前日の残り全日程、閉会式
2	会 場	北北海道： <u>男子～芽室町立総合体育館（芽室町東三条8-1 TEL 0155-62-1144）</u> <u>女子～帯広の森体育館（帯広市南町南7線56-7 TEL 0155-48-8912）</u> 南北海道：道立野幌総合運動公園体育館（江別市西野幌481 TEL 011-384-216）
3	主 催	北海道ソフトテニス連盟
4	主 管	江別ソフトテニス連盟 帯広ソフトテニス連盟 北海道ソフトテニス連盟高校部
5	後 援	（公財）日本ソフトテニス連盟
6	協 賛	㈱ゴーセン、ナガセケンコー㈱
7	種 目	高校男子シングルス 高校女子シングルス 高校男子ダブルス 高校女子ダブルス
8	競技及び 試合方法	(1) ルールは、公益財団法人日本ソフトテニス連盟（以下、日連という）「ソフト テニスハンドブック」による。 (2) ダブルス、シングルスともに7ゲームマッチとする。 (3) ダブルス、シングルスともにトーナメントとする。 (4) 原則ダブルスは敗者審判、シングルスは勝者が正審、敗者が副審を行う。 第1試合は大会本部の指定審判とする。 (5) 進行状況により競技方法等を変更することがある。 (6) 引率責任者は当該校の教員とする。 ・ベンチ入り指導者は学校長の認めた教職員とし、2名まで認める。 ・但し、出場数を超えてはならない。 ・シングルスについては、ベンチ入り指導者を認めない。
9	大会使用球	ケンコーボール
10	参加資格	(1) 男女共、前年度北海道高校新人戦（シングルス）及び北海道高校インドア大会（ダブルス）上位組及び道連推薦を加える。 (2) 日連公認審判員制度の有資格者であること。
11	申込期限	平成29年3月21日（火）道連必着（事務局開局時間内） ※北海道高校インドア大会（3/11-12）終了後、当連盟高校部の決定を経て、大会参加資格を得た学校は、速やかに申込みを行うこと。
12	参 加 料	(1) 参 加 料 ダブルス3,000円/ペア、シングルス2,000円/人（平成29年度日連会員登録予定者） ※日連会員登録制度未登録者（平成29年度の登録を予定していない者）は、1人につき、1,100円の参加料を加算する。 (2) 納入方法 支部で取りまとめ、下記の口座に振り込むか、現金書留で郵送すること。（申込期限厳守） 【郵便振替口座番号】02760-4-7927 【加入者名】北海道ソフトテニス連盟
13	申込方法	所定の申込書に必要事項（審判等級・日連登録番号を含む）を記入のうえ、学校ごとに取りまとめ、下記へ申込みすること。（申込期限厳守） 〒062-0905 札幌市豊平区豊平5条11丁目1番1号 北海道立総合体育センター内 北海道ソフトテニス連盟事務局 TEL050-5501-8761 Fax011-820-1730 メール <a href="mailto:info@hokkaidosofttennis.com">info@hokkaidosofttennis.com</a>

14	本戦出場 資格	<p>(1) 男女共、南北合わせてダブルス8ペア・シングルス8人が本戦に出場できる。但し、同一校の参加はダブルス2ペア・シングルス2人までとする。</p> <p>(2) (1) の出場資格に伴い、次点となる選手の決定は、敗者復活戦等で決定する。決定方法は、大会本部で指示をする。</p> <p>(3) 南北の出場数の割当ては、北海道ソフトテニス連盟高校部が決定する。</p> <p>(4) 本戦日程等は、次のとおり。 開催月日：平成29年6月21日(水)～25日(日) 会場：札幌円山庭球場</p>
15	参加選手 留意事項	<p>(1) 所定の時刻までに受付を完了し、開会式には、必ず出席すること。</p> <p>(2) 日連指定のゼッケンを着用し、四隅を止めること。ただし、3年生は昨年度までのゼッケンも着用可とする。</p> <p>(3) ラケット(公認マーク添付)、シューズ、ユニフォームは、日連が公認したメーカーの製品を使用(着用)し、当該年度の日連の「ユニフォーム等の着用基準」を遵守すること。</p> <p>(4) 日連会員登録証(登録会員)、公認審判員ワッペン及びイエローカードを携行し、審判を担当するときは、原則ワッペンを左胸に着用すること。</p> <p>(5) ベンチ入り指導者もテニスの服装とする。</p> <p>(6) ベンチに入ることのできるのは、ベンチ入り指導者及び選手とする。</p> <p>(7) 優勝者は必ず〔持ち回り優勝杯〕を持ち帰り、次年度の大会時に整備のうえ、責任を持って返還すること。</p>
16	問合せ先	<p>〒001-0930 札幌市北区新川7-17-1 札幌国際情報高等学校 早川 真司 TEL 011-765-2021 FAX 011-765-2022</p>